

ソーシャル・イノベーション入門

— 社会起業の視点と考え方 —

ものごとの仕組みや価値観を変える大きな変化をもたらすソーシャル・イノベーション。画期的な取り組みの多くは、身の回りにひそんでいた不都合や、疑問や、生きづらさに気がついた、たった一人の小さな一歩がきっかけになっています。どんな視点で問題に気づき、向き合えば、社会を変える大きな変化を生み出すことができるでしょうか。具体的な事例をひも解きながら、4週にわたって、一緒に考えていきましょう。

日時 2024年 10月 2日～23日 各回 18:30～20:00
毎週水曜・4回連続

受講料 無料

会場 叡啓大学キャンパス内 4階 401-402教室
(広島市中区幟町1-5)

定員 50名

第1回 10月2日(水) 露木 真也子 県立広島大学ビジネススクール(HBMS) 教授

ソーシャル・イノベーションは、決してヒーローのような特別な人たちの取り組みではありません。身の回りで起きている不都合や不便さを解消しようと、小さな一歩を踏み出したたった一人から、社会の仕組みや価値観を変える大きな動きが始まるのです。第1回では、ソーシャル・イノベーションの基礎知識をご紹介します。数人ずつのグループに分かれ、最終回に向けて取り組みたいテーマを決めましょう。



第2回 10月9日(水) 仲本 典明 PAPACOCO (パパココ) プロジェクト 代表



PAPACOCOプロジェクト —男性だから気づけた、乳がん患者と家族が抱える問題

第2回では、社会起業の具体的な事例を取り上げます。「PAPACOCO (パパココ) プロジェクト」は、乳がん罹患した方のパートナーにも必要な支援があるのではないか、という問題意識から生まれたプロジェクトです。県大ビジネススクール(HBMS)の修了生で、プロジェクトの生みの親である仲本典明さんを講師に迎え、活動の経緯と「PAPACOCO」という名称にこめた想い、最近の取り組みなど、じっくり語っていただきます。

第3回 10月16日(水) 吉岡 マコ シングルマザーズシスターフード 代表理事



マドレボニータ —シングルマザーだから気づけた、産後と子育てにまつわる諸問題

ご自身の体験から、女性の産後をめぐる社会制度や生活文化に大きな問題が潜んでいることに気づき、「マドレボニータ」を立ち上げた吉岡マコさん。活動開始から20年の時を経て、事業を後進に譲り、新たに立ち上げた団体が支援するのは、女手一つで仕事に子育てに奮闘するシングルマザーたち。マコさんが問題に向き合ってきた視点とその揺るぎない哲学とは? ご本人の言葉で語っていただきます。

第4回 10月23日(水) イアン 筒井 動物かんきょう会議プロジェクト 主宰者



“じぶんごと”として問題に向き合う

身近な生きづらさを解消し、より望ましい未来を実現するソーシャル・イノベーション。そのはじめの一歩は、困りごとに直面している他者と同じ目線で問題に向き合うことです。連続講座の最終回では、人間たちが惹き起こしてきたさまざまな問題を動物の目線から考える「動物かんきょう会議プロジェクト」の主宰者・イアン筒井さんを講師に迎えます。数人ずつのグループに分かれて、“他者の目線”を体感してみましょう!

申込方法・申込先 【申込期限：9月23日(月・祝)まで】

下記のURLまたは右のQRコードをご参照のうえ、リンク先の申込フォームからお申し込みください。

<https://www.pu-hiroshima.ac.jp/site/koukai-kouza/2024100223social.html>

